

むろた あかり
生産科学科4年 室田明星 (石川地域人材コース7期)



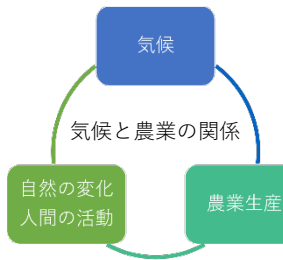
みなさん、こんにちは！トビタテ石川地域人材コース7期の室田明星です。今回は私の留学体験をお伝えします。今回は私は小さい頃から留学するのが夢でした。といっても、「海外で暮らしてみたいな〜」くらいの気持ちでした。中学生の時に英検を受けてみたり、高校生の時にはアメリカへの研修旅行に参加したりと少しずつ活動は進めていきましたが、長期間海外へ行く機会は逃し続けていました。メリハリのない生活をしてきた大学二年の時、石川県が主催する、いわく国連スタートイビジットプログラムに参加し海外での刺激を受けたことで、自分の将来を考え直し「大学生の間には必ず留学しよう！」と決心しました。これが動機です。

日本文化発信活動

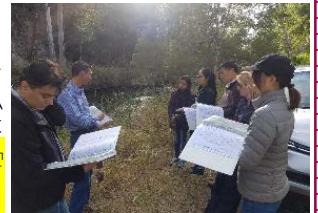
のひとつとして、現地で合気道を習い始めました。講師はハンガリー人の夫婦で、合気道未経験の私は、日本語の技の名前や意味を英語で説明する役割を担いました。日本の伝統的な動きや精神論を、海外で学ぶという貴重な体験をしました。

そこで出会ったのがこのトビタテ！留学JAPAN(以下トビタテ)です。これは二〇一四年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。誰でも、どこでも、何でも、挑戦することができるよう国を挙げて留学したい学生をサポートしてくれるのです。トビタテの特徴として、自分で留学先や留学計画を考えるということが挙げられます。そのため留学計画書を作成するのは非常に大変です。自分がどんな人なのか、どんなことを知りたいのか、将来どんな仕事があったのか等、何度も考えます。大変ではありますが、後の様々な活動にも活かされそうですね！

TOBITATE JOURNAL TOBITATE



さて私は「石川県の農業生産性向上を実現するための留学計画」というテーマで、オーストラリアの南クイーンズランド大学に約九ヶ月間留学していました。日本とオーストラリアの農業の違いを学び、オーストラリアで特に発展している農業ソリューションに関する研究を行いました。研究では専用のシミュレーションソフトウェアに気候、土壌、肥料等のデータを入力し、作物の収穫量や成長度合いを求めるという検証作業を行っていました。結果として、作物栽培には特に気候が大きく影響し、かつビッグデータ(過去に蓄積されたデータ)を使えばある程度それを予測して危機回避ができるということがわかりました。

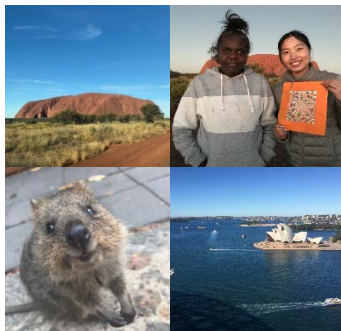


フィールドワークの様子



TOBITATE JOURNAL TOBITATE JOURNAL

真面目な話が長々と続きましたが、留学では楽しいことも大変なこともたくさんあります！他の留学生との交流や旅行を通じて、様々な国を知ることができました。例えば、シェアハウス生活ではインド人と揉めました。インド人を始めとして多くの留学生は部屋の掃除をしません。掃除していないキッチンで作った食事を拭いていない机で食べるのは嫌ですよね(笑) こういう文化の違いを受け入れることが、私にとっては一番大変でした。これに比べたら、英語の心配とか飛行機が三時間遅れたことなんて大した問題ではありません。大きな口を叩いています。強くしてくれました。



最後に、留学は特別な人だけができない特別な経験ではありません。やる気があれば応援してもらえます。その環境も石川県立大学に整っています。今すぐでなくともいつか「海外行ってみたい」と思った時、このような支援制度があることを思い出してください。トビタテ！